

令和元年度糖尿病性腎症重症化予防研修会（事業管理・運営者編）実施報告

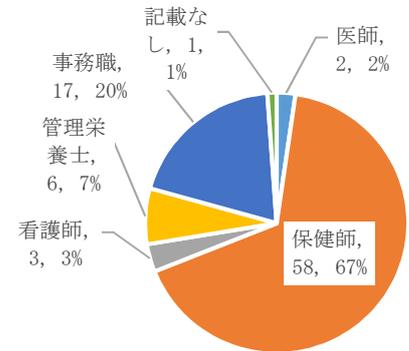
【参加状況】

●日時 8月21日（水） 10：00～16：30

●参加人数 87名（男：12人、女：75人）

●所属（人）

県	保健所	市町村	医療機関	医師会
3	11	68	4	1



●職種別（人）

医師	保健師	看護師	管理栄養士	事務職	記載なし
2	58	3	6	17	1

●課別（人）

健康増進課	国保課	総務企画課	高齢課	医療機関	医師会
34	34	11	3	4	1

【プログラム】

テーマ：「糖尿病性腎症重症化予防事業を効果的に行うための体制を整備する」

時間	内 容
10:00 (120分)	講義「糖尿病性腎症重症化予防プログラムを効果的・効率的に進めるために」 あいち健康の森健康科学総合センター センター長(医師) 津下 一代
12:00 (60分)	昼食
13:00 (60分)	情報提供「糖尿病性腎症重症化予防事業に関する愛知県の実態と県版プログラムについて」 愛知県保健医療局健康医務部国民健康保険課 主任主査(保健師) 鈴木 礼子
14:00 (120分)	グループワーク「糖尿病性腎症重症化予防事業実施に向けて」 あいち健康の森健康科学総合センター 技 監(医師) 古川 麻里子 課 長(保健師) 栄口 由香里
16:00 (30分)	総括「研修会のまとめ」 質疑応答・意見交換等
16:30	アンケート記入・終了

【研修会の様子】

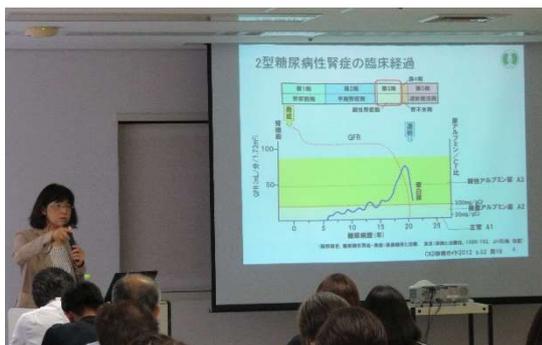
今年度から実施することとなった研修会です。「糖尿病性腎症重症化予防事業を効果的に行うための体制を整備する」ことをテーマとし、糖尿病性腎症重症化予防や保健事業の計画・運営に携わっている方を対象に実施しました。

津下センター長の講義では、糖尿病性腎症重症化予防について、自治体が取り組む意義とプログラムの進め方、継続的に実施するポイントを説明したうえで、全国の実態や先行で進んでいる自治体の状況や工夫点について学びました。また、この事業に関係する新しい事業として、高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施について情報提供がありました。

愛知県保健医療局健康医務部国民健康保険課の鈴木主任主査より、県内の糖尿病や透析患者の状況及び、糖尿病性腎症重症化予防プログラムの説明後、医療費、保険者努力支援制度の実施状況について情報提供があり、重症化予防プログラムを行う必要性を確認しました。

●講義

「糖尿病性腎症重症化予防プログラムを効果的・効率的に進めるために」



●情報提供

「糖尿病性腎症重症化予防事業に関する愛知県の実態と県版プログラムについて」



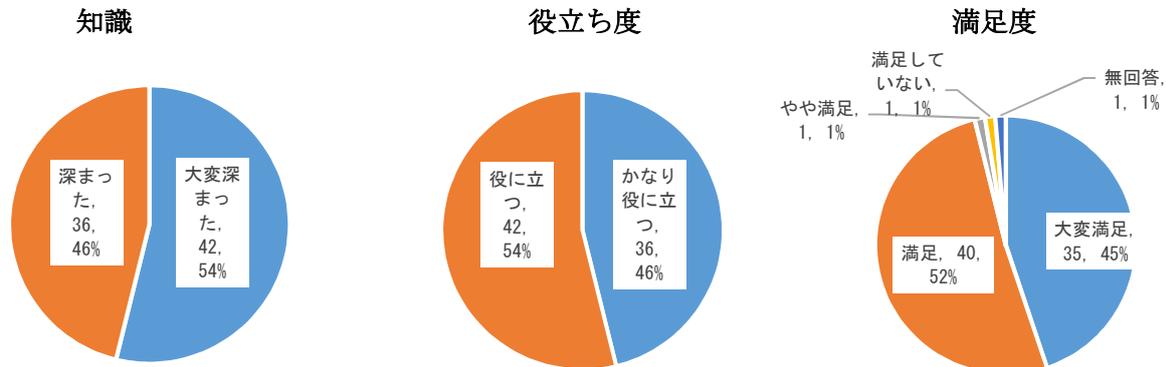
●グループワーク「糖尿病性腎症重症化予防事業実施に向けて」

進捗管理シートの3つの大項目（①計画・準備、②受診勧奨・保健指導、③評価・報告・改善）ごとに進捗状況、課題を確認しました。「着手していること」、「着手できていないこと」、「わからないこと」を整理し、自身のまわりの現状報告や課題、解決策を共有したうえで、みえた課題をもとに、古川医師、栄口保健師、鈴木主任主査より、事業を円滑に進めるために気をつけるポイントや資料の紹介、解説がありました。



●アンケート結果 78名から回収（回収率 89.7%）

1. 全体



2. 受講者の声

<感想>

- ・ 今年度から担当となり、手探りでやっていたことが少しずつ明確になった。直接住民の健康につながる役割なので、チームで力を合わせて頑張りたい。
- ・ 現在、訪問での受診勧奨、保健指導を実施しており、今後の取り組みの参考になった。
- ・ 研修で学んだことを課内で共有したい。
- ・ 担当者が代わった際に困らないことと、担当が増えてきたので、保健指導マニュアルの修正と情報共有を行う必要性を感じた。
- ・ アウトカム指標や医師会の連携等の課題が見つかり、今後の業務に活かしていきたい。
- ・ 費用対効果をより意識した体制作りが大切だと感じた。
- ・ 事業の見直しや新たな展開について考える機会となった。
- ・ プログラムに取り組む意義や対象について理解できた。
- ・ 進捗管理シートの提出を求められた時、分かりにくいところがあったが、よくわかった。
- ・ KDB を活用した中断者、未治療者へのアプローチが良くわかった。
- ・ 後期高齢者医療担当として、大変役に立つ情報が得られた。

<グループワーク>

- ・ 2次医療圏単位でのグループワークで周辺の市町村のことや、改善点が聞けて良かった。
- ・ グループワークでの血圧治療者が、糖尿病性腎症で受診する際の説明文書例が分かりやすかった。

<連携>

- ・ 行政、医師会、専門機関との繋がりや、組織の中での連携が重要であることが学べた。顔の見える関係づくりを作っていきたい。
- ・ 医師、看護師の方が、一緒に参加していたことが良かった。連携の大切さを感じた。
- ・ 事業参加者への個別対応だけでなく、関係者との連携、仕組みづくりの大切さを実感した。
- ・ 国保側とも協力しつつ、国保だけでなく、後期高齢へ連動した取り組みが必要であると感じた。

次回は、12月18日（水）に「実務者編」を開催します。ご参加をお待ちしております！